

平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
岡山県が管理している道路では、日常の点検に加え、定期点検を実施することにより、安全確保に努めています。

本号では、美作岡山道路（勝央IC付近）で今年10月に実施した橋梁の定期点検について紹介します。



岡山県マスコット
ももっち・うらっちと仲間たち

～ 「事後保全型」から「予防保全型」の維持管理へ ～

岡山県では、壊れてから直す「事後保全型」の維持管理ではなく、定期点検により橋梁の状態を把握し、点検結果に基づく早期補修を計画的に行っています。

この「予防保全型」の維持管理を実施することで、重大な損傷に至る前に小規模な補修により橋梁の長寿命化を図り、ライフサイクルコスト（※）の縮減と道路ネットワークの安全性・信頼性を確保しています。

なお、岡山県が管理する道路橋は、5年に1回の頻度で定期点検を行い、状態の確認と健全性の評価を行っています。

（※）ライフサイクルコスト：構造物の設計・施工・維持管理・補修・撤去に至る全ての費用



～ 「小矢田黒土高架橋」及び「黒土高架橋」の点検状況 ～

美作岡山道路でも橋梁の定期点検を行っております。

今年度は、勝央IC付近にある「小矢田黒土高架橋」及び「黒土高架橋」の定期点検を行いました。

定期点検は、目視により橋梁の状態を確認するため、健全性の評価が行える距離まで近づき、必要に応じて打音検査等を行います。

この点検で対策が必要な異常が発見された場合は、その後、詳細な調査を行います。



【橋梁点検の状況】

ミニ情報

岡山県では「岡山県道路橋梁維持管理計画」を策定し、道路橋の長寿命化と維持管理費及び更新費の平準化・最小化に取り組んでいます。

詳しくは岡山県土木部道路建設課のホームページをご覧ください。